

Miyagi University of Education

海外留学



宮城教育大学

ハンドブック

A Student Guide to Studying Abroad



このハンドブックを手にとったみなさんへ



みなさんの中には、大学生のうちに一度は海外へ行ってみたい、留学してみたい、と考えている人も多いのではないのでしょうか。

学生時代に海外で学ぶという体験は、あなたの人生にとって大きなプラスになるでしょう。それは単に留学先の大学で得られる知識や語学力が得られるということだけではなく、

留学した先輩は、「留学を通して語学力を向上させることができたのはもちろん、外国の文化に触れることによって、日本の文化を改めて見つめ直し、多様な見方ができるようになった」と言っています。また、「留学先の国の学生だけではなく、世界各地から来ている留学生と共に学び、交流ができたことがとてもよかった」という声もよく聞きます。

このように、留学は、留学先の国の学生だけではなく、世界中から来る留学生との友好を深め、国際的な視野

を広げ、また日本や自分というものを改めて見つめ直すチャンスにもなるはずです。多様な価値観に触れることができるのも留学や国際交流の大きな魅力です。

新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により、すぐに留学できないケースもありますが、学内における国際交流や、あるいはオンライン留学という新たな手段を通して、学生時代に国際的な経験・視野を得ることはできます。

学生時代はあなたの一生を決める大事な時期です。一生のうちで二度と得られないこの機会を生かして、あなたの未来を拓いてみませんか。

このハンドブックには、本学でできる留学や国際交流について書かれています。これを読んで、あなたの人生の新しい一歩を踏み出しましょう。

もくじ

このハンドブックを手にとったみなさんへ	2	目的に合った留学プログラムも選ぼう	3	留学までの道り	4	交換留学体験～オーストラリア～	6
交換留学体験～スウェーデン～	8	交換留学体験～台湾～	10	留学体験～アメリカ～	12	留学体験談	14
短期留学	15	ドナー研修	17	学内でできる国際交流	18	留学 Q&A	20

目的に合った留学プログラムを選ぼう

「留学」といっても、様々なプログラムがあります。
まず、どのようなプログラムがあるのかを調べて、自分の目的に合ったものを選びましょう。

大学に在学したまま協定校へ
(休学も含む)

✕ 交換留学

- 自信をもって英語が話せる小・中学校の先生になりたい。
- 様々な文化の人と交流して、コミュニケーション能力をつけたい。
- 海外の大学で実際に学び、日本の教育と比較してみたい。
- 歴史の舞台を自分の目でみて、理解をより深めたい。

休学して個人的に留学

✕ 私費留学

- 残念ながら大学のプログラムに合うものがない。

夏または春の
長期休暇中に参加できる

✕ 短期留学

- サークルや部活も頑張りたいから、長期留学は難しい。
- 長期でいくのは心配だから、まずはお試いで海外留学に行ってみたい。
- ホームステイしながら英語を勉強してみたい。
- いろいろな国にいて、語学学習や文化体験をしてみたい。
- 海外の自分の視野を広げ、子どもたちに多様な価値観を持つことの素晴らしさを伝えたい。
- 文化や芸術に触れてみたい。



留学までの道のり

1

留学スケジュールを確認しよう

- 本学の留学プログラム(交換留学・短期)を調べる

2

卒業までの予定を考えよう

3

留学説明会に参加しよう

- 先輩の留学体験談を聞く
- 留学に関する情報を集める(HPをチェック)
- 担当者と相談する

4

留学先を決めよう

- 協定校とそこで学べる内容をもとに考える

5

応募資格を確認しよう

- 英語圏にはTOEFLまたはIELTSの正式スコアの提出が必要
- アジア圏なら、語学の講義をとって準備

6

勉強・準備しよう

- 目標スコアに達するように勉強して、受験する

7

学内選考に応募しよう

- 2年次の7月に願書提出、夏休み中に面接試験を受ける

8

合格したら、協定校に申請しよう

- 本学から推薦して協定校に申請する
- 願書や住まいの申請なども行う

9

留学決定!

- 協定校からの受け入れ決定通知がきたら、留学願(休学届)を出す
- 実習や卒業に必要な事務的な手続きも行う
- 航空券の手配をし、留学保険にも加入する

10

留学!

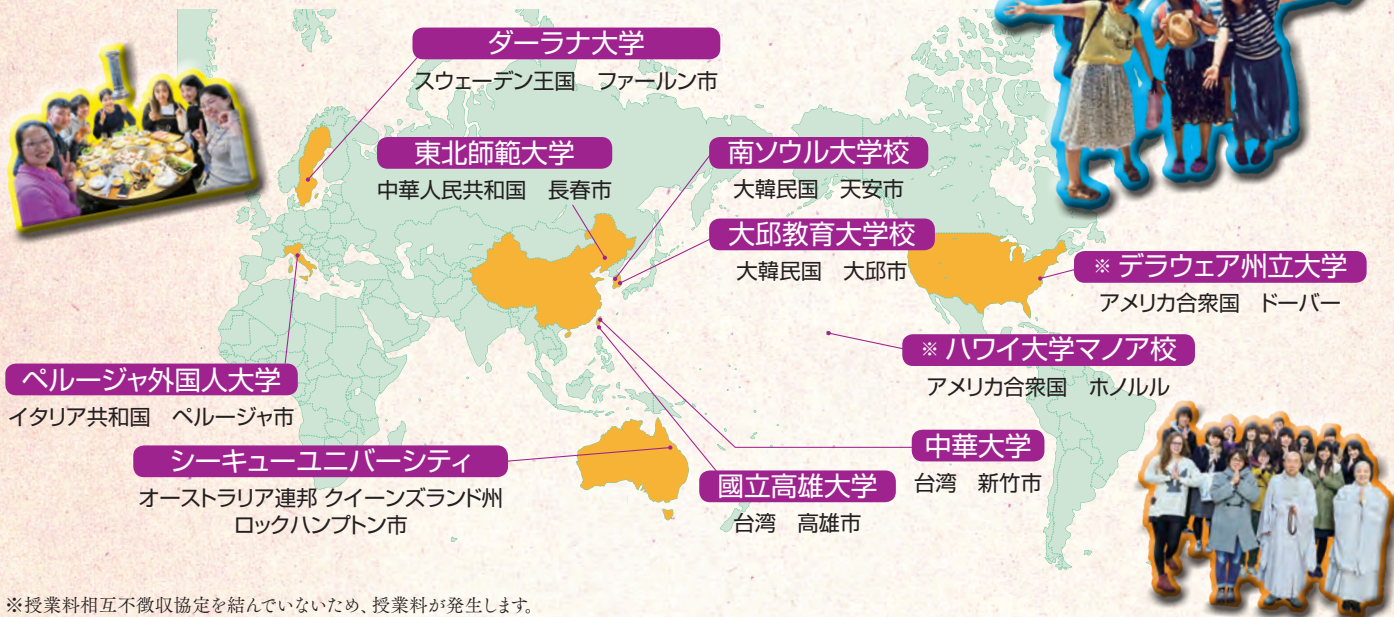
- 毎月、留学中の様子をレポートに書いて提出する

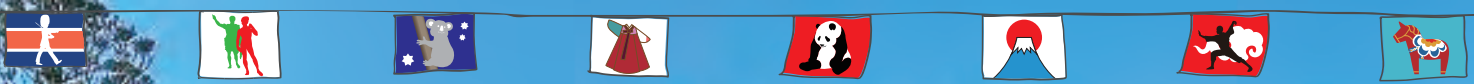
入学から卒業までの留学スケジュール(例)

(本学では教育実習が2回あります。)

	1年		2年		3年		4年		5年
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
Aさん オーストラリア(1年留学)		春休み 短期留学			留 学		実習①		実習②
Bさん オーストラリア(1年留学)						実習①	留 学		実習②
Cさん スウェーデン(1年留学)					実習①	留 学			実習②
Dさん スウェーデン(1年留学)						実習①	留 学		実習②
Eさん 韓国(1年留学)					留 学			実習①	実習②
Fさん 中国(1年留学)					実習①	留 学			実習②
Gさん (短期留学)		春休み 短期留学			夏休み 短期留学	実習①	実習②		

協定校との交流





交換留学体験



オーストラリア

〈留学先〉
オーストラリア
CQU University

英語コミュニケーション
コース
大泉 康平 さん
小田島 崇 さん



▲ Drinking at JCR

留学のきっかけ

私は高校生の頃に2週間ほどの短期留学を経験しました。その時に自分の英語力が上がっていく実感や今まで経験したことのない海外での生活に触れ、たくさんの刺激をもらいました。しかしそれと同時に、2週間という短い期間では物足りなさを感じてしまい、大学生になったら長期で留学に行き、その中でより多くの刺激をもらったり、より深く英語を学んだりしたいと考えたのが留学のきっかけです。(小田島)

留学実現まで

正直自分の英語力にはあまり自信がなかったり、留学を漠然と考えていたりしたため、準備は少し遅くなってしまいました。CQUへ留学した先輩から準備について話を聞き、両親と金銭面や時期などたくさん相談をしました。留学へ行くのにTOEFLの点数が必要だったのですが、TOEFLでは大学で受けるTOEICと違いスピーキングとライティングも入っているので出題傾向の確認などもしました。ビザの登録など半年以上の準備期間を経て無事留学へ出発しました。(小田島)

大学での学習

大学で学ぶ前に、私はCQU附属の語学学校に通いました。受けたコースは、英会話の基礎を身につけるジェネラル・イングリッシュコース(GE)、それから大学でのレポートの書き方やディスカッションの進め方、プレゼンテーションのやり方を学ぶアカデミック・イングリッシュコース(AEP)です。GEコースでは、文法や単語のおさらいから始まり、少しずつそれらを使って会話したり、作文を作ったりと、1ヶ月間みっちり英語の基礎づくりが出来ます。AEPコースに上がると、内容はもっと難しくなり、しっかりと基礎が出来ていないと授業や課題について行けないので、留学前から準備を進めておくことをお勧めします。

語学学校を卒業し、ターム2から大学で授業を受けました。私は教育に関

する授業と、経済に関する授業を受けることにしました。クラスメイト達は積極的な生徒が多く、私も積極的に授業に参加するようになりました。課題について、宮教大の授業と比べると毎週重めの課題やクイズが出されますが、AEPコースで学んだ事を活用して乗り切ることが出来ました。

私はいつもエンジニア・ビルディングという建物のラボで、寮の友達と勉強していました。ピザやハンバーガーを食べながらみんなと遅くまでパソコンに向かった日々も良い思い出です。他には図書館も使えるので、自分に合った環境で勉強するということだと思います。(大泉)



▲ 憩いの場JCRにて



▲ Res Ball Party

現地での生活

私は大学の寮に入る前に、1ヶ月間ホームステイをしました。語学学校が始まる前だったので、ステイ先の家族と、ゆっくりとオーストラリアでの生活を体験しました。寮では多国籍の友達と関わられる一方、ホームステイではオーストラリアらしい生活を味わう事ができるため、もし時間があれば経験してみたいと思います。

寮での生活では、様々な文化や言語に触れる事が出来たため、非常に楽しかったです。私はブレイクダンスという趣味があり、そのおかげでパーティーやクラブで交友関係を深める事が出来ました。大学の体育館で開かれた大きなパーティーでは、学外の人たちとも知り合えて、ホームパーティーに呼んでもらって遊びに行くなどして、より現地のことを知ることが出来ました。皆さんも、何か趣味や特技があると、友達づくりに役に立つかもしれません。(大泉)

これから留学する人へのメッセージ

私は英語力の向上を第一の目標として留学に臨みました。その結果、期待以上の経験、学び、友達を得る事が出来ました。これからの人生において、これらのものは私の核となり、きっと支えになる事と思います。特に、文化によって異なる考え方や価値観に私は強く影響を受けました。他の文化を自分に取り込む事もできるので、視野を広げるという点において、留学は素晴らしい機会だと思います。

皆さんに送りたいメッセージは2つあります。1つ目は、“Study hard”です。当たり前には聞こえますが、留学前に出来るだけ英語力を高めておく事で、現地で勉強以外のことに挑戦出来る余裕が持てます。宮教大に通う留学生と話したり、留学生交流サークルに参加したり、出来る事をしておくとよいです。2つ目は、“Don't be shy”です。日本では積極的な人は敬遠される事がありますが、現地では積極的であると友達ができやすいです。勇気を出して話しかけてみる事が大切です。きっとみんな笑顔で話してくれると思います。(大泉)



▲ お別れ at ロックハンブトン空港

留学先での時間割

前期1	月	火	水	木	
8:30 ⇨ 10:00	Session 1	Session 1	Session 1	Session 1	
10:15 ⇨ 11:15	Session 2	Session 2	Session 2	Session 2	
11:25 ⇨ 12:25	Session 3	Session 3	Session 3	Session 3	
13:00 ⇨ 14:30	Session 4	Session 4	Session 4	Session 4	
前期2	月	火	水	木	金
14:00 ⇨ 16:00	Session 1	Session 1	Session 1	Session 1	Session 1
16:30 ⇨ 18:30	Session 2	Session 2	Session 2	Session 2	Session 2

文法や日常会話でよく使われるフレーズなどを学習



後期	月	水	木
9:00 ↓ 11:00		Programming fundamental	Students with Special Needs
12:00 ↓ 14:00		Teaching Language Use in Context	

Javaを使ったプログラミング

特別支援教育について

オーストラリアのカリキュラムや指導案の書き方についてなど



前半で4技能を後半でディスカッションやプレゼンなどを行う



▲ ラジオ体操 in Australia

スケジュールについて

私の留学での時間割は前期では語学学校で一般英語や大学英語について数か月ほど授業を受けました。どの授業も現地で生活する上で大切な授業です。後期は大学で3つほど授業を受けました。自分の興味があるもの

や専攻分野の授業などを取りました。大きな課題が2つから3つほど出るのでその際は課題に費やす時間が増えました。それ以外の時間では、友達とパーティーをしたり、映画を見たりしました。(小田島)

交換留学体験



〈留学先〉
スウェーデン
ダーラナ大学

英語コミュニケーション
コース
島津 智佳 さん

ピザを食べた帰りに

留学のきっかけ

私はなんとなく英語などの言語が好きだったこと、なんとなく外国の暮らしに憧れていたこと、そんな理由で、大学生になったら留学したいと漠然と考えていました。英語が公用語であるアメリカやオーストラリアも選択肢にあった中で、最終的にスウェーデンを選んだ理由は、教育・福祉制度、デザインや技術分野、幸福度など、自分にとって魅力的だなと感じるトピックが多かったこと、そしてヨーロッパの様々な国を旅行してみたかったからです。また、スウェーデン人の英語力は英語を第二言語とする国としては世界でも三本の指に入るほどであり、授業も英語で受けられると聞いたので、英語力向上も可能だろうと考えました。



▲ オーロラを見に北へ行った時

留学実現まで

1年生から3年生まで、英語を話す機会が得られるイベントに参加したり、リスニングに慣れようと、移動時間に海外ドラマを観たりしていました。そのことが留学条件テストの基準突破にも大きく貢献したと思います。テストはTOEFLまたはIELTSのどちらかを選べるので、両者の違いや、仙台での試験日などを早めに調べておくとよいと思います。

大学での学習

ダーラナ大学は2つのキャンパスがあり、そのどちらでも留学生に向けた英語で行われる授業が様々な分野で用意されています。その中から宮教での専攻に関わらず、興味がある授業を好きなように選択できるのが醍醐味だと思います。私はスウェーデン社会、プロジェクト管理、プレゼン、スウェーデン語、心理学の授業を取りました。入門程度とは言うものの、リーディング課題や実践的なグループワーク、レポートをこなしていく中で、授業で学んだ知識以上のことが身に付いていると感じました。特にグループワークを進める過程では、単に英語力というだけでなく、批判的に意見を言い合えるヨーロッパの友達に圧倒されました。できることを確実にやることで食らいついていきました。



▲ 宮教への留学生と再会!

現地での生活

私が住んでいた街はヨーロッパらしいカラフルな建物、伝統的な朱色の家の景色も素敵でしたが、最大の魅力はその壮大な自然だと思います。近くに複数の湖や森があって、深夜まで明るい夏はサイクリング、カヤックやBBQをするのが最高です。季節や天気によって違う美しさがあります。アジア人が圧倒的に少ない中、前学期は台湾人の友達とルームシェアをするなどして、よく助け合いました。後学期はドイツ、イタリア、デンマーク、チェコなどヨーロッパ各国の友達と仲良くなりました。宮教に留学していたダラナ大学の学生たちに再会したり、スウェーデン語の先生にいろいろお世話になったりする中で、現地の人とのつながりも感じられました。



▲ ロードトリップ

休みの過ごし方

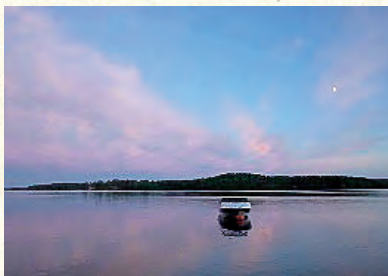
平日の昼は授業、勉強に集中し、夜は友達とご飯を作ったり、映画を観たり、ボードゲームをしたりして遊ぶ、というメリハリをつけられたのが良かったです。特に週末はレンタカーを借りては、いろんな街、自然を見にスウェーデン中を周りました。目を見張るような絶景の記憶と同じくらい、そうした移動、ハイキング、キャンプでの自炊などの最中に友達と語り明かした時間は宝物です。



▲ 毎晩のように遊んだ友達



▲ オーロラ



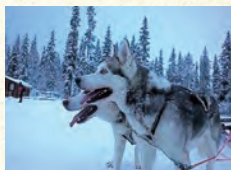
▲ 天国みたいな黄昏時のFalunの湖



▲ カヤックで着いた場所で休憩

英語とスウェーデン語

授業は全て英語で行われ、留学生との友達との会話も英語であるため、身の周りには常に英語がある環境でした。英語が母語でない人との関わりが増えていく現代において、各国の友達の多様な英語に慣れることができたのは一石何鳥にもなったと思います。一方で国民のほとんどが英語を流暢に話せるスウェーデンですが、彼らの生活の中では英語はあくまで外国語というポジションです。もちろん英語は通じますが、現地の言語を話すことによる楽しさ、反応の良さ、便利さ、意外な出会いは、想像していた以上に魅力的なものです。どちらの言語にどれほど時間を費やすかは自分の目的やモチベーション次第で決めればよいと思います。その調整が可能な環境だと思っています。



▲ 目も毛も美しいハスキー犬

宮教生人のメッセージ

たくさんの予想もしない形の刺激を受けると、考え方や目標がよく揺るぎます。他でもない自分の現在と今後をたくさん考えます。社会人になる前にそのような経験をするのが、今後の選択一つひとつ、40歳、60歳の自分に影響を与えたいと思います。留学はその経験ができる手段の一つだと思います。自分で知らず知らずのうちに固定している自分の性格や価値観の型からはみ出してみることができるといいます。なので、留学を有意義にできるかどうかにか、

今の自分がどんな人間であるかは問題にはならないと思います。

ほんの少しでも留学に興味があるのであれば、まずは教務課に行って担当の職員の方や先生に相談してみることをお勧めします。資料をいただけたり、先輩や関連する方を紹介していただけたりと、判断材料が格段に増えるはずです。



交換留学体験



〈留学先〉
台湾
中華大学

健康・運動障害教育
コース
小山 千幸 さん



▲ 阿里山にある寺院

留学まで

台湾への短期留学に参加し、現地の学生との交流を通して刺激を受け、より広い世界を見てみたいという気持ちを持ったことが、長期留学を意識し始めたきっかけです。それと同時に、大学生活の半分が経とうとしていることに気が付きました。そのまま卒業することもできましたが、この4年間の中で自分に強く残るものは無いのではと感じ、何か自分だけの武器を手に入れたらいいという思いから、留学に行くことを決意しました。

留学に行くことを決めてからは、実習や講義で忙しく、思うようにはいきませんでした。中国語の勉強に取り組みました。それから、VISAや荷物の準備、航空券の手配や留学先の大学との調整などに追われ、あっという間に渡航の日を迎えました。



▲ 友達と一緒に阿里山に日の出を見に行った時

現地での生活と学校

留学中は、大学の敷地内にある寮の4人部屋に住んでいました。前期のルームメイトは、台湾人2人と中国人1人でした。隣の部屋には、マレーシア人が生活していました。国際色豊かな環境で、全てのことが新鮮に感じられました。

寮にキッチンはありませんでした。台湾は、外食文化です。朝食から夕食まで、全て買ったものを食べていました。日本に比べて物価が低く、種類豊富で美味しいものもたくさんあるので、食事に困ることはありませんでした。

中華大学には、応用日本語学科があります。そこには、「日本語を学びたい!」という熱意を持った台湾人学生が大勢いました。私は主に、その学科の講義にTAという形で入っていました。日本語での会話の相手になったり、作文の添削を行ったり、中華大学に来なければ触れることはなかったであろう、日本



▲ 台湾人の友達と遊んだ時

語教育という分野について学ぶことができました。また、それらの講義を通して知り合った台湾人学生と交流し、中国語もたくさん教えてもらいました。言語交換という形をとり、とても充実した関係を築くことができましたと感じています。

週に2回、他の国から来ている留学生と一緒に受ける、中国語の授業もありました。そこではレベル別にクラスが分かれ、自分に合わせた内容を選ぶことができます。様々な国から来ている留学生とは、なるべく中国語を使って会話しようとしたのですが、最初のうちは英語を交えて話すことも多々ありました。

私が中国語を正式に習ったのは、この週2回の授業だけです。あとは、日常の自然な交流や、台湾のテレビやドラマを観たりラジオを聴いたりすることで、最終的には現地でも問題なく過ごせるほどの日常会話レベルまで上達しました。

授業数は多くなく、余裕を持って生活することができていました。空いている時間は新竹市内を散策しに、よく出かけました。美味しい食べ物を探す

ことが、とても楽しみでした。後期になると、自分の語学力にもある程度自信がついたことで行動範囲が広がり、毎月のように旅行に行きました。友達と行くことも、1人で行くこともありました。

後期には、世界的な新型コロナウイルスの流行を受け途中帰国も考えましたが、台湾の確かな感染対策のお陰で私の留学生活に大きな変化はありませんでした。授業はずっと対面で、外出自粛を要請されることも無く、充実した日々を過ごしました。しかし、帰国するには飛行機が少なく、PCR検査を受ける必要があるなど、確かに大変な時期ではありましたが、それも貴重な経験の一つです。



▲ 授業中交流している時

■ 留学先での時間割

前 期	月	火	水	木	金
8:30 ↓ 10:15	日語会話	日語会話		日語会話	日語会話
10:25 ↓ 12:00	日語会話		日文習作		
13:10 ↓ 15:00				卒業專題実作	
15:10 ↓ 17:00	日本の大学生活についてプレゼンした時				
18:00 ↓ 20:00		中文課	中文課		

後 期	月	火	水	木	金
8:30 ↓ 10:15	日語会話	日語会話			
10:25 ↓ 12:00			創意應用日語		日語会話
13:10 ↓ 15:00			宜蘭旅行に行った時		
15:10 ↓ 17:00		日語会話		日語会話	
18:00 ↓ 20:00		中文課		中文課	台湾で有名なアイス

■ 留学を考えている人へ

留学に行くかを迷っているなら、絶対に行った方がいいです！私は留学に行って後悔したことなく、何一つありません。語学力に自信がなくても大丈夫です！努力次第で何でもなります。留学に行けば、新たな日々が、素敵な出会いが、大きな成長があなたを待っています。とても魅力的だと思いませんか？

何事も、「自発的」な行動が大切です。自分の人生を豊かにしたいのなら、まずは自ら動いてみてはいかがでしょうか。大学生のうち、留学に行くチャンスだと思います。今しかできないことに、是非挑戦してみてください！！



▲ 研修で故宮博物館に行った時



◀ 台中旅行に行った時



留学体験



カラーガードのメンバーたちと

〈留学先〉
アメリカ
デラウェア州立大学

英語教育専攻
谷口 未来さん
菅原 出さん

留学のきっかけ

中学校のときの恩師との出会いをきっかけに、長い間英語の教師になりたいと思っていた私は、始めから留学の提携校がある教員養成系大学を探して、宮城教育大学に入学しました。留学したかったのは、教科としての英語を教えて知識を身に付けさせるだけでなく、文化の違いや実際に自分が体験したことを生徒に伝えて興味を引き出せるような教師になりたいと思っていたからです。(谷口)



▲ バンドメンバーと

留学実現まで

3年次か4年次に1年間休学してアメリカに留学するというは、入学当初から決めていました。一番の問題は、入学前に見たパンフレットにあったアメリカの大学との提携が終了してしまったことでしたが、教務課の担当の方に相談を続ける中で新しく協定を開始する大学があることを知り、無事に留学先を決めることができました。英語教育専攻だったため英語関係の授業が多く、個人的に α の勉強に時間を費やすことはあまりありませんでしたが、元々英語が好きなので日常的に洋楽を聴いたりTED Talkを見たりしていたことが耳を慣らすことにつながっていたかもしれません。加えて、両親の金銭面での負担を少しでも軽くしたい思いで、1年次から節約や貯金をするように心がけていました。(谷口)

大学での学習

大学での学習は自分の興味のある授業を選べるだけ選びました。僕の履修した授業は留学生が行う英語の読み書きとコミュニケーションを学ぶ授業の2つと、現地の学生に交ざって学んだ、ビジネス学・スペイン語・英作文・アメリカ史の4つです。アメリカ式の授業は授業間隔が短いので準備はとても大変でしたが、その分学べている実感がコンスタントにあるので自分には向いているなと感じました。教授によって話すスピードが速かったり、アクセントが独特で聞き取りづらかったりと大変なところはありましたが、何よりも「生の英語」を体験できたのでいい経験になったと感じています。一番面白かった授業はアメリカ史の授業で、日本ではなかなか感じることでない「多様性」というものをアメリカの歴史をたどりながら現地の学生と議論することができてとても勉強になりました。(菅原)



▲ インターナショナルフェアで



▲ 現地の友達と

現地での生活

現地ではシェアハウスに近い形で生活をしていました。ホームステイやシェアハウスだと学校以外でも英語を使えたり、学生以外ともコミュニケーションをとれたりできるのでとてもおすすめです。学校までは自転車で通学していました。木曜日と金曜日にはそれぞれ現地の高校と中学校の日本語クラブにボランティアとして参加していました。日本語を教えるだけでなく、書道や折り紙など日本の文化についても実際に体験してもらいながら学んでもらいました。僕が考える「留学でしかできないこと」は、現地の文化を感じることでと思っています。そのため、休日は自分の好きなスポーツ観戦を中心に様々な地域に足を運びました。住んでいた地域が東海岸であったこともあり、アメリカ合衆国誕生にゆかりのある地域に足を運ぶことが多かったです。(菅原)



▲ ビーチでパフォーマンス後

大学での活動

大学ではマーチングバンドに入り、カラーガードとして活動しました。バンドに留学生が入ることは初めてだったので最初は受け入れてもらえず、何度も直接交渉をし、オーディションを経て参加することができました。平日は授業後22時まで練習、週末はアメフトやイベントでのパフォーマンスなどと忙しく、休みもありませんでしたが、たくさんの友人をつくることができ、素晴らしい経験がたくさんできました。(谷口)



▲ ルームメイトたち

留学先での時間割

	月	火	水	木	金
08:00	ビジネス学 08:00~08:50		ビジネス学 08:00~08:50		ビジネス学 08:00~08:50
09:00					
10:00	英語(読み書き) 10:00~10:50	スペイン語 09:30~10:45	英語(読み書き) 10:00~10:50	スペイン語 09:30~10:45	英語(読み書き) 09:00~10:50
11:00	英語(会話) 11:00~11:50		英語(会話) 11:00~11:50		
12:00					英語(会話) 11:00~12:50
13:00		英作文 12:00~13:15		英作文 12:00~13:15	
14:00		アメリカ史 13:30~14:45		アメリカ史 13:30~14:45	
15:00					
16:00	 NY・タイムズスクエア			日本語クラブ 15:30~16:30	日本語クラブ 15:30~16:30

宮教生人のメッセージ

留学は、言語能力をアップさせるだけでなく、人としても大きく成長できるチャンスになります。勉強してきたことを実際に使える、新しいことにチャレンジできるというのはもちろん、何よりそれをやり遂げた自分を今まで以上に信頼できますし、自信が持てます。金銭面や必要な試験のスコア、在学年数などの壁は人によってたくさんあるかもしれませんが、返ってくるものは比べものにならないほど大きいです。迷っている・興味が少しでもある・自分を変えたい、など考えている人は、ぜひ窓口にご相談にしてみてください。(谷口)



▲ LA・ヒバリーヒルズのショッピング街



▲ ドーバーの中心部

留学体験談

東北師範大学(中国)

ともえさん

留学の目的は中国語の習得で、私の語学力は一年間で飛躍的に伸びました。初めは簡単なことしか伝えられないし、受け取ることもままなりません。でも、徐々に心の奥深くで考えていることを表現できるようになり、また他者の言葉をより正確に受け取れるようになっていきました。言葉話す・操るといった具体的な行為の繰り返しの中で、私は中国語という外国語ができるようになり、このことが私に自信を与えてくれました。でも、それ以上に語学力によってアクセスできる世界が広がったことの意義はとても大きいと思います。

シーキューニバーシティ(オーストラリア)

あいさん

留学をして私の人生は大きく変わりました。この9ヶ月間の経験が今後の私の人生の大きな財産になると思います。たくさんの友人ができたこと、オーストラリアで将来教員を目指している友人たちと共に勉強したこと、様々な国や地域から来た友人たちとオーストラリアの豊かな自然の中で共に過ごすことができたこと、新たな価値観・新たな世界と出会っただけでなく、改めて日本という祖国の素晴らしさを知ることができました。

大邱教育大学校(韓国)

みきさん

日本にいた時は、正直やりたいこととやらなければいけないことのギャップを感じながら忙しい毎日を送っていたのに対して、韓国にいる間は時間的にも精神的にも余裕ができ、大学の授業を通して様々なことに興味を持ちながら学ぶことができた1年でした。またそこで知ったり考えたりしたことから、日本に帰ってから挑戦したいことも見つけられた気がします。また日本での生活がまた始まりますが、韓国語にはずっと触れていたいと思いますし、大邱で親しくなった友人たちや先生方との関係がこれから先もずっと続くことを願っています。

ダーラナ大学(スウェーデン)

さおりさん

スウェーデン人にとって日本人は珍しいようで、忍者と侍の違いについて、さらに日本の歴史について等質問されるなど、ここに身を置いて改めて日本人だ、という自覚も芽生えました。また、おりがみを新しくできた友達に教えることでも感動され、自国の文化が実はヨーロッパの私の周りの多くの友達にとって新鮮であり、驚くべき発見、そして感動を与えるものなのだという事に驚きました。



短期留学

海外総合演習



夏休みまたは春休み中に、協定校などを10日～2週間程度訪問し、語学学習や現地の学生と交流するプログラムです。学部生対象の講義科目の1つで、単位も取得できます。

選考は特にないので、誰でも参加することができます。現在、オーストラリアや、台湾などに行くプログラムがあります。プログラムの内容は毎年変わる可能性がありますので、シラバスや4月のオリエンテーションで必ずチェックしてください。

費用は行き先によって異なりますが、オーストラリアは30万円程度、アジアは12万円程度です。成績が一定基準以上の学生には、日本学生支援機構の奨学金が支給される場合があります。

講義なので、現地に渡航する前にも、事前研修を5～6回受講する必要があります。

	国・地域	機関	時期/期間	内容
1	オーストラリア	CQ University	2月/2週間程度	英会話/小中高訪問・見学実習/歴史・文化・自然の学習
2	オーストラリア	語学学校・小学校	3月/2週間程度	英会話/小中高教育体験(日本語、日本文化紹介)
3	台湾	中華大学・国立高雄大学	3月/10日間程度	中国語/文化体験/現地学生との交流

※行き先の国・地域は年度によって異なる場合があります

受講者からのメッセージ

大学生のうちに海外に一度は行ってみたい、自分の英語力を試したい、ホームステイがしてみたい、こんな希望に応えてくれるのが「海外総合演習」。留学のような硬いイメージを持つ人もいますが、気軽に参加できる演習です。オーストラリアでは、英語の勉強だけでなく、文化や自然に触れたり、観光したりするフィールドワークも盛りだくさんの2週間を過ごしました。英語に堪能でないと理解できないような活動は少なく、誰でも楽しめる内容です。大学時代に、日本を出て、海外の文化や人々の考え方に触れて得るものはとても大きいです。是非この演習に参加して、素晴らしい体験を皆さんも味わってください。(オーストラリア)

私は韓国やハングルについて何も知らないで、この研修に参加しました。でも、ソウル市内や大学で学生と交流し、韓国の文化に触れていくうちに、不安等ははきえ、すべてが新鮮で、楽しく過ごすことができました。

歴史についてはあまり勉強してこなかったのですが、はじめて知ることが多かったのですが、逆に知ったからこそ、あらためて日本のことについて自分の口で言えるようにならないといけないと思いました。また、韓国に行きたい、留学したくなりました。韓国のことが大好きになりました。

今回の研修を通して、自分の世界を広げることができ、その国に行ってみないとわからないこと、感じるできないことは多いのだと思いました。

学生たちはみんな積極的だったし、日本語で話しかけてきてくれました。入学してすぐの1年生でさえつたない日本語で一生懸命コミュニケーションをとろうしてくれるのが本当にうれしかったし、うらやましくもありました。私は英語を学んでいるのですが、間違いを恐れてなかなか英語で話せません。日本語科の学生のように楽しく外国語を学べたらいいなと思いました。もっと交流したかったです。(韓国)



短期留学

コース1

オーストラリア ロックハンプトン

- CQ大学での英語研修
- ホームステイ
- ケッペル島へのツアー
- アボリジニの文化を知るツアー
- 高校の日本語クラスを見学
- シドニー観光
- オーストラリアの歴史・文化・自然を知るツアー

コース2

オーストラリア ブリスベン

- ブリスベンにある語学学校での英語研修
- 世界から集まる学生と一緒に英会話
- ホームステイ
- 日本語の先生のアシスタント
- 日本の文化や遊びなどを教える教育実習体験



コース3

台 湾

- 台北観光
- 協定校の学生との交流
- 台湾の夜市で食べ歩き
- 中国語体験レッスン
- 協力校の学生ガイドと歩く台北ツアー
- 故宮博物館や総督府などの見学

コメント

この研修を通して、自分がかに井の中の蛙であったのにか気がつきました。

現地の学生たちと話した内容は、日本の文化や台湾の観光地についてでしたが、台湾の学生が日本の若者の文化に強く興味を持っていることにとても驚きました。彼らと話してみても、私は台湾の文化、そして何よりも、自国の文化について知らないということに恥ずかしさを感じました。その後、両国について今まで以上に知りたいという気持ちが芽生えてきました。



他にもある
海外研修の
チャンス

ドーバー研修

感想

情報・ものづくりコース 齋藤 真子さん

この研修は約3週間アメリカのデラウェア州ドーバー市にホームステイしながら、岩沼市の中学生派遣団のサポートをしたり、ドーバー市内の小中学校や中学校、高校、大学を訪問し、異文化交流やアメリカの教育スタイルなどを勉強できるとても楽しいプログラムでした。

岩沼市とドーバー市は姉妹都市で、初めて顔合合わせたその日から既に家族のように、どのホストファミリーも暖かく迎えてくれたのがとても印象的で、私にとっても今ではアメリカの家族であるように思うくらい、忘れられない大切な出会いになりました。毎日様々なイベントが計画されていたので、時差ボケを忘れるくらいとにかく楽しかったです。一緒に行った中学生たちは、予想以上に元気でホームシックになる様子もなく、中学生ながらも知っている単語をフルに使って、自然にホストファミリーとコミュニケーションをとっている様子に私自身も刺激を受けました。

また、このプログラムは中学生の研修が終わると、ホストファミリーが変わり、大学生だけの行動になりました。特に1件目のホストファミリーは中学校の家庭科の先生であったことから、おいなりさんとおにぎりの作り方を教えてほしいとのことで、日本語クラブの生徒さんたちに英語で説明しながら一緒に作って食べ

ました。このような機会をいただけるとは思ってもいませんでした。毎日がアクティブで初めての体験ばかりで本当にいい経験ができました。

それから、将来教員になるということ意識できる機会もありました。それは、アメリカの小・中学校、高校、大学全ての学校を訪問できることです。もちろん訪問するだけでなく、そこで出会った友達と休日にボーリングに行ったり、お泊りをしたりなど、学校以外の場所でも楽しむこともできました。

私はこの研修で自分の英語力アップはもちろん、デラウェア州の教育環境を知り、州知事やドーバー市の教育長とお話する機会も得ました。また、国境を越えた人、第2の家族とも言える方々との出会いと温かさを体感できました。今でもずっとメッセージでやり取りをするくらい、私にとってはこれからも大切な存在の人たちです。そんな素敵なプログラムを経験できるのはこのプログラムならではのと思います。



▲写真右が真子さん



学内でできる国際交流

宮城教育大学では、様々な留学生が学んでいます。例えば、日本人学生と同じように、正規の課程で学ぶ留学生もいれば、海外の協定校から来ている交換留学生、日本の教育について学ぶ教員研修留学生、特定のテーマに関する研究をする留学生などです。

こうした留学生と学内で交流できるチャンスがたくさんあります。例えば、授業、イベント、サークル、チューターなどです。こうしたチャンスを積極的に活用すれば、留学しなくても、留学したかのような気分を味わうことができます。



授業で交流

日本語で一生懸命に話す留学生はすごいなと感じました。文化も違う国に興味を持ち、たくさんの勉強をしている様子でした。その姿を見て、自分は全く外国についてすすんで興味を持って勉強してこなかったと気づき、自分が狭い範囲で生活しているということに気づきました。留学生の話を聞いて、日本では当たり前なことが当たり前ではないことなど、たくさんの驚きがあり、とても楽しかったです。これを機に外国の違う文化を学んでみたいと思いました。



全課程共通科目

世界の発見	語学(フランス語、ドイツ語、中国語、韓国語) 海外総合演習
外国語科目	英語 日本語
外国語コミュニケーション	英語コミュニケーション 日本語コミュニケーション

現代的課題科目

多文化教育	多文化教育入門 日本語教育概論 国際理解教育概論 語学演習(フランス語、ドイツ語、中国語、韓国語) 多文化教育総合演習
-------	---



イベントで交流

図書館のスパイラル・セッション

国際交流関係のイベントが多数開催されています。お知らせを見たら、参加しましょう。



留学生を囲む会

留学生を囲んで、先生方や日本人学生、職員、ボランティアの市民がいっしょに集まる、楽しいパーティーです。留学生との交流を深めましょう。



チューターと留学生との懇談会

4月・10月から本学で学ぶことになった留学生を歓迎する会です。留学生のお世話をするチューターとの交流や理解を深めます。



グローバルカフェ

大学祭に開店する、留学生によるカフェです。留学生のお国のお茶菓子とお飲み物で、みなさんをおもてなしします。留学生の国の話に花を咲かせましょう。



チューターで交流

チューターとは、留学生のお世話をする日本人学生のことです。具体的には、日本での生活がうまくいくように手助けしたり、日本語学習のお手伝いをしたりします。

チューターをやりたいという学生は、掲示板などで募集がありますので、お見逃しなく。2号館1Fの窓口でも受け付けています。



日本語スピーチコンテスト

留学生たちが日ごろの日本語の勉強の成果を生かして、日本語でスピーチをします。母国のこと、日本で経験したこと、思っていることなどを熱く語ります。毎年たくさんの聴衆が集まり、会場は笑いに包まれたり、しみりしたりします。会場の投票により賞が決まります。



サークルで交流

Pole Pole

留学生と楽しく、ゆるく活動しているサークル、ポレポレです。「Pole Pole」は、スワヒリ語で、「のんびり、ゆったり」という意味です。年初めには恵方巻きパーティーをしたり、春先には仙台ならではの青葉祭りを一緒に回ったり、活動は様々です。夏に水族館へ行ったり、秋には松島の紅葉を見に行ったりもしました。イベントは、日本人学生が主体となり留学生のニーズに応じながら月1のペースで企画・運営しています。英語は苦手……という方も大歓迎!留学生とやってみたいことを、私達と「形」にしてみませんか?興味のある方は、ミーティングを頻繁に開いているので是非おいで下さい!



協定校からの訪問

毎年1~2週間程度、本学と協定を結んでいる大学の学生が本学を訪問します。(協定校はP5を参照)

宮教生はボランティアとして大学の授業や仙台市内の見学などを手伝いながら、来日学生たちと交流します。



留学 Q&A

Q 留学の相談はどこでできますか？

留学を希望する人は、4月から随時留学説明会を開催しているので、ポータルサイト等でチェックし、それに参加してみましょ。また、2号館事務室の窓口でも留学相談ができます。留学担当の教員にも相談ができますので、まずは、窓口に行って、気軽に相談してみましょ。

Q 4年間で卒業できますか？

教員免許の取得に関する単位への互換は認められないことがほとんどです。そのため、留学すると、卒業が1年遅くなります。でも、留学期間に得られる様々な経験は、あなたの人生にとって貴重な時間になるはず。また、海外総合演習のように短期留学する場合は、4年間で卒業することもできます。

Q 交換留学の選考はどのように行われますか。

交換留学の場合には、3年次に派遣されることが多いです。そのため、2年次の夏休み～後期に学内選考を行っています。選考は、書類審査と面接試験の2つです。

Q 留学先でかかる費用はどのくらいですか。

留学先によって費用は大きく異なります。協定がある大学の場合は授業料がかかりません。授業料のほかに、住居費、食費、教科書代、交通費、小遣いなどが必要です。

だいたい、アジアの大学では年間50～80万円程度、オーストラリアの大学では120万円程度は準備しておきましょう。高いように思われますが、日本で生活していてもお金はかかります。仙台で一人暮らしすると1ヶ月いくらかかりますか。それを基準にして、留学費用が高いか安いかに考えてもいいでしょう。

Q 英語圏の大学に必須のTOEFLやIELTSはいつ受ければいいですか。

交換留学の場合、2年次の夏休み～後期に選考を行うため、それまでに正式のスコアを提出することが必要となります。1回目の受験で目標点が取れるとは限らないので、1年次のうちから受験準備を始めておきましょう。